

新しい公共支援事業の成果等報告  
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入] 新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)	
受託者名	特定非営利活動法人みえきた市民活動センター	
実施期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日	
受託金額	2,500,000円	
受託内容	<p>管内NPOと連携して、「小さな市民活動応援基金を作る会」を立ち上げ、NPOに対する寄付金を集めるインフラを整備する。また、ITを活用して市民活動を身近に感じてもらえるように、地域に情報発信をおこなう。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果 基金の中心となる人たちの集まりを確立する。</p>	
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>一連のさまざまな取り組みの案内と報告とを、CANPAN ブログ、Facebook、Twitter、地域内から全国までの各種のメーリングリストを使って、速やかにデジタル情報発信した。一方で、地域メディアの応援やまちのかわらばんの手配りという face to face のアナログ発信も重ねてきた。地域の内外から、ささやかではあるけれどさまざまな認知のサインが伝わってくる。三重県条例指定認定NPO法人化要件の方向もふまえ、身近で小さな「市民活動応援☆きらきら基金」を大切に思って、いっしょに創っていこうとする人たちが少しずつ増えていく気運が醸成されつつある。</p>	
	評価ランク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価に○を付けてください。)

2. 添付書類

その他参考となる書類 なし ※ 都道府県において適宜設定すること。

新しい公共支援事業の成果等報告  
(業務を受託した中間支援組織等分)

## 1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入]新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)	
受託者名	四日市NPOセクター会議	
実施期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日	
受託金額	3,933,200円	
受託内容	<p>資金を循環させる「市民活動ファンド」、人的資源を循環させる「人材ポケット」、物的資源を循環させる「モノバンク」の3で構成される、官民連携による市民活動への資源循環の仕組みを構築する。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果</p> <p>①ファンドレイジング交流会等によるファンド原資獲得</p> <p>②不用品・遊休地等の物件登録</p>	
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>幅広い分野（県・市、企業、商工団体、地域密着型メディア（ケーブルテレビ、エフエム放送、各戸配布型月刊紙）、自治会、社会福祉協議会、労働組合、NPO、大学）から企画委員会を立ち上げ（名簿別紙参照）、2回の会議において市民活動サポートバンク（SSB）の基本コンセプトについて熱心な討議を行った。この結果「基本コンセプトの市民への広報が第一」との合意に至り、ホームページ、パンフレット、DVDなどの制作を急ぐことになり、それぞれ準備に着手し、作成業者も決定した（作成業者も企画委員会に参加する予定）。また委員でもある地元ケーブルテレビが、準備段階からSSBを積極的に広報していくことになった（2/14放送）。四日市市では、実施中の「まちづくり協働委員会」の平成23年度報告書に、「市民活動サポートバンクの仕組みを検討中」であることが書き込まれた。ファンド原資獲得、不用品等登録の取り組みも始めており、既に原資の一部が確保されたほか、パソコン20台確保などの成果が上がっている。目標とする原資を獲得するためにも、寄付者が税の優遇措置が受けられる体制を整えることが必要であり、認定NPO法人等の体制整備を急ぐ予定であるが、広報媒体の充実と企画委員会での協議により、今後順調に進むことが予想される。</p>	
評価ランク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価に『』を付けてください。)	

## 2. 添付書類 委員名簿

その他参考となる書類 なし ※ 都道府県において適宜設定すること。

新しい公共支援事業の成果等報告  
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入] 新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)	
受託者名	特定非営利活動法人市民ネットワークすずかのぶどう	
実施期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日	
受託金額	1,346,400円	
受託内容	<p>団体が活動する場を提供し、団体間の交流を深めることでネットワークを築き、それらの団体の活動が活発になるように支援する。また、各団体に訪問、交流して団体情報を把握し、ネットワークに繋げるためのデータベースを作成する。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果 新規雇用人材育成を図り、当団体活動把握、ジャンルごとの中間支援団体を紹介し、自主的に訪問・交流が出来るようにする。またIT支援補助機会を与えてITリーダーとして自立できるようにする。その成果をもとに次年度のデータベース作成、亀山市・鈴鹿市への提言に結びつけることができる。</p>	
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>人材に恵まれ順調に推移した。支援組織のネットワークを目指す訪問では、鈴鹿市社会福祉協議会地域グループと定期的に情報交換することとなり既に始まった。賛助団体活動支援の参加については、イベント・講座に積極的に参加した。またIT支援補助に関しては、補助の他に独立して相談業務・講座講師を担当した。</p>	
	評価ランク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価に○を付けてください。)

2. 添付書類

その他参考となる書類 なし ※ 都道府県において適宜設定すること。

新しい公共支援事業の成果等報告  
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入]新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)	
受託者名	特定非営利活動法人津市NPOサポートセンター	
実施期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日	
受託金額	2,600,000円	
受託内容	<p>NPO専門雑誌を発行し、イベント情報、ボランティア情報、企業CSR、協働に関する情報、寄付・助成金情報など、人・金・情報が雑誌を通じて循環するきっかけを生むように取り組む。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果 実行委員会にて雑誌の内容を固め、見本誌を作成し、販売可能店舗を10店舗確保します。</p>	
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>平成24年度は、見本誌を作成して販売協力店を探す計画であったが、学生、企業、行政、フリーランス、NPOで形成された検討会にて、より良い資源循環を行うために「雑誌を無料配布して1人でも多くの人に見てもらおう」「雑誌単体ではなく、コミュニティバンク等と連携して情報と資金の循環を目指す」「世代別にアプローチする媒体を変えて多くの人を巻き込む」「地域活動に関わっていない人を巻き込むために“オシャレ”“面白い”等のキーワードを意識する」といった意見を得ることができ、次年度のより良い雑誌の作成に繋げることができました。</p>	
	評価ランク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価に○を付けてください。)

2. 添付書類

その他参考となる書類    なし    ※ 都道府県において適宜設定すること。

新しい公共支援事業の成果等報告  
(業務を受託した中間支援組織等分)

## 1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入]新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)	
受託者名	特定非営利活動法人Mブリッジ	
実施期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日	
受託金額	2,000,000円	
受託内容	<p>認定取得を目指すNPO法人の制度改正への理解、その他地域での活動を支援する。そのために、松阪管内のNPO法人に向けて制度に関するアンケートを実施し、ファンドレイジングのキーパーソンとなりうる人材を抽出する。その後、キーパーソンとの間で勉強会、講座、相談などを通じて、地域での活動の幅を広げていく。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管内の全NPO法人を対象としたアンケート調査の実施</li> <li>アンケート調査の結果を受けて抽出した団体へのヒアリング調査の実施</li> <li>アンケート及びヒアリング調査の実施報告書の製本・印刷</li> </ul>	
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>NPO法人にとってファンドレイジング(資金調達)は、法人のミッションを達成するために重要な業務(責務)です。今年度はこの業務を支援するため、法人調査およびヒアリングを行い、そして、日本のファンドレイジングに関する最先端のセミナー「FRJ2012」に参加いたしました。その結果、地域で活動するNPO法人の現状および課題等が把握できたことや、セミナーによりこの地域における支援メニューを修正できたことは、今年度の成果と言えます。</p>	
評価ランク	<input checked="" type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価に○を付けてください。)	

## 2. 添付書類

その他参考となる書類 なし ※ 都道府県において適宜設定すること。

新しい公共支援事業の成果等報告  
(業務を受託した中間支援組織等分)

## 1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入] 新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)	
受託者名	特定非営利活動法人Mブリッジ	
実施期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日	
受託金額	1,190,000円	
受託内容	<p>企業とNPOが一緒になり、一般県民に向けた「社会広報誌」という広報誌を刊行する。その中で企業とNPOの活動をまとめ、それぞれの活動を伝わりやすくする。また、この広報誌をポスティングする協力者を募りつつ、活動の認知度を上げていく。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会広報紙という新しいスタイルの理解者、参画者を増加</li> <li>・多様な主体が関わり合える仕組みを構築</li> </ul>	
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>公共的な広報を新しく取り進めることを目的としたこの事業は、まずその意義や目的を関係者と共有する基盤作りが大切であることを改めて感じた。それに向けての意見交換等は24年度に向けて大きなヒントを得られたと感じる。その成果を最大限に活用し今後の制作物へ反映させていくこととする。自己評価としては一定の成果が得られたと考える。</p>	
	評価ランク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価に○を付けてください。)

## 2. 添付書類

その他参考となる書類 なし ※ 都道府県において適宜設定すること。

新しい公共支援事業の成果等報告  
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入] 新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)
受託者名	特定非営利活動法人いせコンビニネット
実施期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日
受託金額	2,684,330円
受託内容	<p>①リユースパソコン地域循環化プロジェクト（企業からNPOへの中古パソコンの寄贈推進）</p> <p>②志摩地域中間支援組織基礎調査プロジェクト（志摩地域を中心とした中間支援機能強化）</p> <p>③NPO法・税制改正啓発プロジェクト の3つの柱による事業を実施する。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果</p> <p>①パソコンの寄贈プログラムを三重県版にするために、払い下げしてもらえる企業や行政の確保</p> <p>②志摩地域の団体に訪問してデータの蓄積</p> <p>③NPO法・税制改正のための情報収集</p>
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>成果1、これまで各地域で個別に実施していたリユースPC寄贈プログラムを三重県全体とすることができた。</p> <p>成果2、各地域でリユースPC寄贈プログラムに賛同し参加してもらった団体数が22年度は、当法人を含めて6団体だったものが、23年度には7団体となった。</p> <p>成果3、3月24日に行った寄贈式&amp;交流会では、共催に大塚商会、トレンドマイクロ、日本マイクロソフト、ブラザー販売、後援に、総務省（セキュリティすごろく「セキュろく」）、三重県、伊勢市、松阪市、伊賀市、津市、名張市、四日市市が参画してもらうこととなり、新聞報道なども行われた。</p> <p>1、リユースPC寄贈地域循環化プロジェクト（広域事業）： 成果：10月～3月まで実施、結果三重県内のパソコン払い下げ企業確保数 8社 三重県内でパソコンを提供してもらえる企業はある程度確保できたものの、小規模の企業であるため、機種もバラバラで確保できるパソコンの時期もバラバラで、まとまった台数を確保できないため、三重県内や東北に生産協力事業所を作っても、</p>

	<p>OS等の再インストール作業を行うことが障がい者等に行ってもらうには困難な事態が想定される。一部パソコンを首都圏中心とした企業から提供してもらうことに改善する。また、パソコンを提供してもらえる企業の確保は、引き続き24年度も継続していくこととする。</p> <p>2、志摩地域中間支援組織基盤整備プロジェクト(南勢志摩県民センター管内事業)          成果：10月から3月まで実施、結果61団体の調査を終了          初年度は、多くの団体の調査を行うというより、交流会を開催するということを通じながら、調査を行う形を取り、より組織化、よりネットワークの強化を図りながら調査を進めている。          ※志摩市民活動通信 SANPO の自主性を尊重しながら、当法人で管理し事業実施を行っていく。最終的に、志摩地域の中間支援組織の強化が成果と考えている。</p> <p>3、NPO法・税制改正啓発プロジェクト(南勢志摩県民センター管内事業)          成果：2回のセミナーに参加(内容：①新NPO会計基準、②認定NPO法人申請セミナー)、10月～3月までHP等より情報収集といせ市民活動センターのHP等で発信          とくに大きな変更点はないが、23年度に別事業で調査を行ったNPO法人についても、当法人と顔の見える関係が構築できたので、24年度以降は、これらのNPO法人に対しても講座の案内、訪問を行っていくこととする。</p>
評価ラ ンク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価に『』を付けてください。)

## 2. 添付書類

その他参考となる書類 なし ※ 都道府県において適宜設定すること。



新しい公共支援事業の成果等報告  
(業務を受託した中間支援組織等分)

## 1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入]新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)
受託者名	特定非営利活動法人なばり NPO センター
実施期間	平成23年10月 1日～平成24年3月31日
受託金額	3,500,000円
受託内容	<p>NPOや市民のために、NPOの活動や寄付税制についての講座やイベントを開く。それらを通じて、NPOの寄付の獲得、NPOや中間支援組織の認識化の促進、多様な主体との協働などを目指し、事業規模を拡大していく。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果 講座各種5種実施 FM放送実施 寄付システムの完成</p>
得られた成果及び自己評価	<p>講座各種5種実施・・・達成予定 FM放送実施・・・実施中 寄付システムの完成・・・検討中</p> <p>■達成しようとする成果を測る具体的な指標 項目①(講座延参加者) 目標値(100人) / 実績値(200人) 項目②(企業参加) 目標値(10社) / 実績値(3社) 項目③(寄付金獲得) 目標値(50万円) / 実績値(30万円)</p> <p>■成果指標の達成状況 および事業の効果 NPO法改定 NPO税制改正や寄附講座など、予想外に関心が無いことに唖然としている。NPO関係者も、寄付金獲得講座等とても関心があると思っていたのに、参加者は少なかった。(10名まで)。ワールドカフェなどについては、前回以上の参加があり、「プラットフォーム」的な場を求めている市民がいることは確認できた。今後どのような支援が必要なのか検討中。</p> <p>■改善点 事業計画に変更はないが、もう少し広報宣伝活動を考えて取り組んでいきたい。また、伊賀市内の各地で行う事業に際しては、地縁団体との協力協働を行い、現場のニーズに沿った取り組みを行っていきたい。その為に、地域のコアのメンバーと事前の打ち合わせを行い、実行に向けて準備をしたい。 また、伊賀市のまちづくり推進課の人たちとも意見交換を行い、地域でのニーズ</p>

	を捕まえる努力をしていきたい。	
評価ラ ンク		<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B：一定の成果 が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった （該当する評価に『』を付けてください。）

2. 添付書類

その他参考となる書類 なし ※ 都道府県において適宜設定すること。

新しい公共支援事業の成果等報告  
(業務を受託した中間支援組織等分)

## 1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入]新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)
受託者名	東紀州コミュニティデザイン
実施期間	平成23年10月1日から平成24年3月31日
受託金額	1,362,000円
受託内容	<p>現在、東紀州での市民団体の繋がりが不十分なため、4つの事業部（コミュニティカフェ事業部、キタガワノホトリ事業部、防災・減災事業部、中間支援事業部）を創設し、各分野ごとに連携、ネットワーク化を促進する。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果 4つの事業部の焦らない遂行、キタガワノホトリ事業部では、活動拠点としての充実度アップ</p>
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>東紀州コミュニティデザインの活動自体は、2005年9月からであり、消滅せずに残っているだけの意義や意味はあると感じている。中間支援の必要性は、NPO法人みえNPOネットワークセンターや、NPO法人みえ防災市民会議への参画など、県内外からも求められているが、肝心要の地元からの要望や周知には、まだまだ至っていないと感じている。今後は、さらなる行政との協働も不可欠である。</p> <p>民設民営であることが、継続には大きな不安材料であり、キタガワノホトリを中心とした収益事業の展開が必須課題である。また、雇用できる体制を敷いても、雇用されたい人がなかなか見つからない人材不安・不足も懸念材料である。この辺りの改善が出来れば、事業が大きく推進する機動力になるので、受託期間中に進展させたい課題である。</p> <p>ただし、4つの事業部を展開することで、得られた成果も多いと感じており、第1は、多くの人との交流による人的ネットワークの拡大が挙げられる。これを収益に結びつけることが課題であるが、最終的には地元を支えらる仕組みづくりだと感じている。第2は、キタガワノホトリという活動拠点を持っていることで、この維持には多額の賃貸料も必要であるが、これを賄えるだけの収益が見込めたこ</p>

	<p>とである。しかし、運営するスタッフの人件費までには至っていないので、受託期間中に実現したい。キタガワノホトリの利用率が向上すれば、この点は改善されてくるので、さらなる知恵を絞らないとならない。</p>	
	<p>評価ランク</p>	<p> <input type="checkbox"/> S : 特に優れた成果が得られた         <input type="checkbox"/> A : 優れた成果が得られた         <input checked="" type="checkbox"/> B : 一定の成果が得られた         <input type="checkbox"/> C : 限定的であるが成果が得られた         <input type="checkbox"/> D : 成果が得られなかった       </p> <p>(該当する評価に□ を付けてください。)</p>

2. 添付書類

その他参考となる書類    なし        ※ 都道府県において適宜設定すること。

新しい公共支援事業の成果等報告  
(業務を受託した中間支援組織等分)

## 1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入] 新しい公共推進指針 (仮称) 策定事業
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)
受託者名	特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンター
実施期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日
受託金額	3,849,000円
受託内容	<p>全県の指針策定をマルチステークホルダー・プロセスで実施する体制を整備 (NPO、自治会、企業、行政、大学等) するとともに、県内を8地域に分けて、各地域内でマルチステークホルダー・プロセスによる地域円卓会議を実施し、その話し合い内容を全県指針作成に活かしていく。</p> <p>■ 平成23年度に達成しようとする成果を具体的に記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域レベルの多様な主体による「新しい公共」の理解促進とネットワークの機運の醸成</li> <li>2 全県レベルの多様な主体による「新しい公共」の理解促進とネットワークの機運の醸成</li> <li>3 NPOと地縁団体との連携による力強い市民セクター形成への理解の促進</li> <li>4 全県的なNPOネットワーク体制づくりの着手と県全域におけるNPOの顕在化</li> <li>5 地域の実情と課題を踏まえた、新しい公共推進指針年度末報告</li> </ol>
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 県下8カ所で、各地域の実情に応じた多様な主体による地域円卓会議を行い、これまでなかった地域レベルの多様な主体のネットワークの機運が高まった。</li> <li>2 新しい公共推進指針策定委員会の委員交渉に当初予定を大幅に超える時間がかかったものの、これまでなかった多様なセクターで構成される委員会を立ち上げることができた。また、地域円卓会議で得られた意見をベースに、「新しい公共」の基本に関わる意見交換を行うことができた。</li> <li>3 各地域円卓会議及び推進指針策定委員会において、NPOと自治会とが共通課題を話し合う場ができ、今後の連携を促進させる足がかりとなった。</li> <li>4 8地域で地域円卓会議を行ったことで、各地域内のNPO相互の連携の契機となった。また3月に予定している県版円卓会議を実施することで、全県的なNPOの連携促進を図る予定である。</li> <li>5 県下8地域の実情に沿った「新しい公共」をめぐる有益な意見が多数得られた(別添資料参照)。これに基づき、推進指針の策定に向けて策定委員会の議論が始まった。</li> </ol> <p>■改善点</p>

	<p>1 当初予定していた骨子案については、県からの指示により進捗状況の報告書に代えたことに伴い、第2回地域円卓会議では、第1回地域円卓会議及び策定委員会の議論に基づく「新しい公共」の基本的な課題について議論する。</p> <p>2 策定委員会の委員のスケジュール調整の困難さから開催回数を1回減らし、その代り新しい公共の基本的な課題について、納得できる議論を行うこととする。</p>
評価リンク	<p><input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価に○を付けてください。)</p>

2. 添付書類

その他参考となる書類    なし    ※ 都道府県において適宜設定すること。

新しい公共支援事業の成果等報告  
(業務を受託した中間支援組織等分)

## 1. 成果等報告

受託業務名	平成23年度三重県NPO法人活動実態調査事業[提案方式導入]	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input checked="" type="checkbox"/> その他(複数回答可)	
受託者名	特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンター	
実施期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日	
受託金額	9,997,000円	
受託内容	<p>NPO法人が自立した活動をするために必要となる支援などを把握するため、NPO法人の活動実態や課題等に関して調査することを目的に、平成23年3月31日現在、県内に主たる事務所のあるNPO法人の活動実態に関する調査を実施した。</p> <p>調査は、県内9地域のNPO中間支援団体が、訪問や電話等により実施し、対象とするNPO法人561法人のうち452法人を調査することができた(回答率80.6%)。</p> <p>結果は「三重県NPO法人活動実態調査報告書」にまとめ、三重県へ報告した。</p> <p><a href="http://www.pref.mie.lg.jp/NPO/jittai.htm">http://www.pref.mie.lg.jp/NPO/jittai.htm</a></p>	
得られた成果及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則訪問調査としたことにより、80.6%という高い回答率を得ることができた。</li> <li>・捕捉ヒアリングを実施したことにより、多くのNPO法人から自由意見を得ることができた。報告書にも反映させ、より現場の声を取り上げることができた。</li> <li>・報告書のとおり県内NPO法人の活動実態や課題等を把握することができたため、「新しい公共推進指針(仮称)」や今後の施策展開の基礎資料として活用できるものである。</li> <li>・県内9地域のNPO中間支援団体に調査を委託したことにより、各地域のNPO支援体制の強化に寄与することができた。</li> </ul>	
	評価ランク	<input type="checkbox"/> S:特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A:優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B:一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C:限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D:成果が得られなかった (該当する評価に『』を付けてください。)

新しい公共支援事業の成果等報告  
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

1. 成果等報告

モデル事業名	「意思決定の場への女性の参画」促進応援プラン ～寄ってたかって男女共同参画を活かしたまちづくり～
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> NPO支援重点化枠    (該当するものにチェック)
事業実施主体名	男女共同参画みえネット
実施期間	2011年10月1日～2013年3月31日
支援額 (注釈参照)	※ 支援額は総額及びその内訳を記載してください。 1, 245, 600円 講師謝金            221, 180円 旅費                    71, 609円 使用・賃借料        102, 730円 印刷製本費          262, 280円 人件費                297, 600円 通信運搬費          38, 730円 消耗品費            206, 767円 食糧費                24, 900円 事務局経費          18, 000円 その他                6, 290円
マルチステークホルダー（会議体）の取組状況	（これまでの取り組み） 企業説明（男女がいきいきと働いている企業知事表彰受賞・認証企業説明会）10/20 13社参加（該当22社中） 企業来訪・訪問 2社 市町事業説明（市町男女共同参画担当者研修での説明）10/28 市町訪問（事業説明）四日市市、亀山市、鳥羽市、伊勢市、志摩市、伊賀市、名張市、桑名市、津市、松阪市、菰野町、川越町、朝日町、多気町 市町訪問（市町協働実施に向けて課題の聞き取り）亀山市、四日市市、鳥羽市、伊勢市、志摩市、伊賀市、名張市、桑名市、津市、松阪市 世話人会（男女みえネット世話人、男女共同参画・NPO室男女共同参画G担当者） 市町訪問（協働実施市との打合せ）四日市市、NPO法人四日市男女共同参画研究所、男女みえネット世話人、男女共同参画・NPO室男女共同参画G担当者 （今後の予定） 県が育成した人財、男女がいきいきと働いている企業三重県知事表彰企業・認証企業、市町、県、男女共同参画みえネットの五者による地域別関係者懇談会を開催予定。
事業概要	※ 事業の概要が分かるように、100～150字程度で簡潔にまとめて記載してください。  県内の市町を訪問し、男女共同参画推進状況を聞き取り中で市町の課題を共有し、



	<p>協働して方策を探る。また、女性が意思決定の場で活動できる力量を形成するための人財育成講座・学習会を地域で行う。さらに、地域の活性化に女性が不可欠であるための講演会を地域で開催する。併せて、男女がいきいきと働いている企業知事表彰を受賞した企業を中心に連携し、地域における「寄ってたかって男女共同参画を活かしたまちづくり」を効果的に推進するための体制づくりを行う。</p>		
<p>事業内容</p>	<p>※ 事業内容、実施事項、実施方法、実施の分担（直接、委託、助成を含めて）等について記載してください。</p> <p>※ 委託・助成した団体等がある場合、当該団体名等について記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市町訪問による男女共同参画推進状況の聞き取りとともに、それによって課題を共有する。このことから、市町と協働して課題解決の方策を探る。</li> <li>2. 審議会等での女性の参画を少なくとも30%とすることを目標に置き、あらゆる分野（自治会・まちづくり・防災など）への波及を目指し、人財育成講座・学習会を地域で行う。そのことによって、審議会等の委員として活動できる力量を形成するためのスキルアップを図る。</li> <li>3. 女性の参画で地域が活性化した事例を紹介することを目的に、講演会を地域で行う。そのことによって、女性の参画の必要性や意義を、地域の人に理解を深めることができる。</li> <li>4. 男女がいきいきと働いている企業三重県知事表彰を受賞した企業を中心に連携し、地域における「寄ってたかって男女共同参画を活かしたまちづくり」を効果的に推進するための体制づくりを行う。また、これらの企業の取組を、地域に知らせる。そのことによって、他の企業の取組を促進するきっかけとし、企業内の人財を掘り起こすことができる。</li> </ol> <p>協働実施市町一四日市市、亀山市、松阪市、伊勢市、志摩市、伊賀市</p>		
<p>得られた成果及び自己評価</p>	<p>※支援の成果、波及効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>29市町に向けて、協働実施についての希望を募ったところ、10市から希望するとの回答があった。202030に向けて何かをしなくてはという思いを掘り起こせたことは、意味あることだと考える。</p> <p>協働実施する市町が決定後、県が育成した人財、男女がいきいきと働いている企業三重県知事表彰企業・認証企業、市町、県、男女共同参画みえネットの五者が連携し、地域における「寄ってたかって男女共同参画を活かしたまちづくり」を効果的に推進するための体制づくりを行う。この事業により、あらゆる分野への女性の参画を進め、地域の活性化を図る。</p> <table border="1" data-bbox="421 1899 1449 2033"> <tr> <td data-bbox="421 1899 531 2033"> <p>評価リンク</p> </td> <td data-bbox="531 1899 1449 2033"> <p>□S：特に優れた成果が得られた    <input checked="" type="checkbox"/>A：優れた成果が得られた    □B：一定の成果が得られた    □C：限定的であるが成果が得られた    □D：成果が得られなかった (該当する評価に□を付けてください。)</p> </td> </tr> </table>	<p>評価リンク</p>	<p>□S：特に優れた成果が得られた    <input checked="" type="checkbox"/>A：優れた成果が得られた    □B：一定の成果が得られた    □C：限定的であるが成果が得られた    □D：成果が得られなかった (該当する評価に□を付けてください。)</p>
<p>評価リンク</p>	<p>□S：特に優れた成果が得られた    <input checked="" type="checkbox"/>A：優れた成果が得られた    □B：一定の成果が得られた    □C：限定的であるが成果が得られた    □D：成果が得られなかった (該当する評価に□を付けてください。)</p>		

(注) 当該支援額により取得し、又は効用の増加した価格が50万円以上の機械及び器具等がある場合、別葉にて、機械等の名称、価格、管理者及び耐用年数等を明記すること。

## 2. 添付書類

その他参考となる書類 ※ 都道府県において適宜設定すること。

新しい公共支援事業の成果等報告  
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

## 1. 成果等報告

モデル事業名	島ヶ原地区の林業資源を生かした木工体験ツアーの推進
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> NPO支援重点化枠 (該当するものにチェック)
事業実施主体名	穂積製材所プロジェクト実行委員会
実施期間	平成23年9月26日～平成24年3月31日
支援額 (注釈参照)	<p>総額:650,000円</p> <p>人件費 280,000円</p> <p>諸謝金 50,000円</p> <p>旅費 90,000円</p> <p>消耗品費 100,000円</p> <p>印刷製本費 30,000円</p> <p>事業広報費 60,000円</p> <p>計画策定費等 40,000円</p>
マルチステークホルダー(会議体)の取組状況	穂積製材所プロジェクト実行委員会、島ヶ原木材工業有限会社、NPO 法人伊賀・島ヶ原おかみさんの会、三重県環境森林部、森林・林業経営室を中心に2011年度は活動をすることができた。2012年度は県内の類似テーマの活動団体とのネットワークづくりや森林管理に関する技術、知識の提供を頂く機会をより多く設け、本プロジェクトのスタッフの基盤づくりにも力を入れたい。
事業概要	<p>※ 事業の概要が分かるように、100～150字程度で簡潔にまとめて記載してください。</p> <p>三重県伊賀市島ヶ原地区の製材所を拠点に都市住民を対象とした木エスクールを開設します。地域産材を活用した「木工体験」と、林業の現場で森林問題について学ぶツアーとしても展開します。地域産材製品(家具等)のブランディングや製品開発、そして地域の主婦グループと連携した木工作品以外の特産品の研究開発などにもチャレンジしたいと考えています。</p>
事業内容	<p>※ 事業内容、実施事項、実施方法、実施の分担(直接、委託、助成を含めて)等について記載してください。</p> <p>※ 委託・助成した団体等がある場合、当該団体名等について記載してください。</p> <p><b>○木工体験モニターツアー</b></p> <p>実施内容:木のぬくもりや香り、手触りを楽しんでもらえる木工体験ワークショップを実施。製材所内の見学を実施。</p> <p>対 象 者:都市の学生。</p> <p>実施方法:本プロジェクトのスタッフのネットワークを活用して都市の学生に呼びかけ、モニターツアーを実施。地域の木工作家に指導してもらいながら、間伐材を利用した木工作品を1人1つ作成。</p> <p>実施の分担:穂積製材所プロジェクトスタッフ…企画、運営 島ヶ原木材工業有限会社…木材の提供、技術指導 NPO 法人伊賀・島ヶ原おかみさんの会…食事の提供</p>

### ○環境学習

実施内容: 森林に入り、手入れのされている林床とされていない林床を見学。

間伐体験。

対象者: 都市の学生。

実施方法: 製材所から車で10分程度の森林に行き、森の香り、音、光を感じてもらえる簡単なゲームを実施。手入れのされている林床とされていない林床を見学することで、日本の林業の現状についてレクチャーを行った。また、地域の島ヶ原木材有限会社にサポートして頂きながら実際に間伐体験をし、木材を切り出して製材所まで運搬という流れを体験。

実施の分担: 穂積製材所プロジェクトスタッフ…企画、運営  
島ヶ原木材工業有限会社…林床案内、技術指導

### ○木エワークショップ

実施内容: 地域のお祭りに参加し、木エワークショップを実施。

対象者: 地域住民

実施方法: 地域のお祭りに参加し、お祭り会場の一角で本プロジェクトのスタッフである地元の木作家を中心に簡単な木エワークショップを実施。

実施の分担: 穂積製材所プロジェクトスタッフ…企画、運営  
島ヶ原木材工業有限会社…木材の提供  
NPO 法人伊賀・島ヶ原おかみさんの会…会場の提供

### ○他工房への視察

実施内容: 岡山県西粟倉村の工房へ見学会を実施。

対象者: 本プロジェクトスタッフ

実施方法: 西粟倉村の木作家さんをご紹介いただき、工房に見学に伺った。森林や工房を見学し、島ヶ原と西粟倉村の違いをヒアリング・分析。本プロジェクトの強みと改善点を整理するし今後の展開に活かしたい。

実施の分担: 穂積製材所プロジェクトスタッフ…企画、運営  
(見学先: 木工房ようび)

### ○まちあるき

実施内容: 島ヶ原のまちあるきを3回実施

対象者: 本プロジェクトスタッフ

実施方法: 地域住民の方の協力を得ながら、まちあるきのコンセプトを決め、3箇所まちあるきを実施。地域の方と一緒に歩くことで地域の歴史を知ることができたり、まちあるきの最中に地域の方と触れ合うことができた。

実施の分担: 穂積製材所プロジェクトスタッフ…企画、運営  
地域住民…企画(相談)、地域の案内

### ○他施設への視察

実施内容: フォレスト伊賀での間伐体験。

実施方法: 三重県森林経営室の方のご紹介でフォレスト伊賀へ間伐体験、見学会を実施。隣接する木材市場に行くことで、林業の一連の流れの一部を知る。

実施の分担: 穂積製材所プロジェクトスタッフ…参加者  
三重県林業経営室…フォレスト伊賀のご紹介、企画

得られた成果及び自己評価	<p>※支援の成果、波及効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p><b>○木工体験モニターツアー、環境学習(評価:A)</b>          今回、日帰りのワークショップを実施することで、短時間でどのようなプログラムを組め、どんなことが伝えられるのかが実証できた。今回は対象者が学生だったこともあるが、参加者の内数名はツアー後に本プロジェクトのスタッフとして関わってくれている。短時間でも木工の楽しさ、林業の課題について伝えられたと実感しています。次回からは、森林問題についてのパンフレット等を作成し、より森林問題について理解して頂けるよう努めたい。</p> <p><b>○木工ワークショップ(評価:B)</b>          木工ワークショップを楽しんで頂け、プロジェクト地域の方向けに本プロジェクトの取組みを直接住民の方に伝えられる機会を設けることができた。次回からは口頭で本取組みを伝えるだけでなく、持ちかえていただけるリーフレット等を準備したい。連絡先等を記載し、今後のプロジェクトにも参加いただけるような仕組みをつくりたい。</p> <p><b>○まちあるき(評価:A)</b>          地域のことをより知りたいという思いから実行した。これまで出会ったことのない方に出会えたことは、都市の学生スタッフにとって島ヶ原をより身近に感じることができる機会となった。まちあるきで発見したことはマップにまとめ、今後島ヶ原に訪れた方にお渡しできる資料としたい。</p> <p><b>○他工房への視察、他施設への視察(評価:A)</b>          これまでにはない視点で本プロジェクトを振り返る、いい機会となった。他の工房を見学することで、本プロジェクトの強み、弱みを改めて知ることができたので、今後展開に活かしていきたい。また、間伐や林業の一連の流れを実際に体験できたことで、本プロジェクトスタッフの林業問題の理解度が深まった。</p>	
	評価 ラン ク	<input type="checkbox"/> S : 特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A : 優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B : 一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C : 限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D : 成果が得られなかった (該当する評価に☐を付けてください。)

(注) 当該支援額により取得し、又は効用の増加した価格が50万円以上の機械及び器具等がある場合、別葉にて、機械等の名称、価格、管理者及び耐用年数等を明記すること。

## 2. 添付書類

その他参考となる書類      ※ 都道府県において適宜設定すること。

新しい公共支援事業の成果等報告  
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

## 1. 成果等報告

モデル事業名	災害にも強い多文化共生地域づくり事業
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> NPO支援重点化枠 (該当するものにチェック)
事業実施主体名	NPO法人 伊賀の伝丸
実施期間	平成23年9月26日～平成24年3月31日
支援額 (注釈参照)	2,940,000円 【内訳】 人件費 1,999,479 通勤費 112,489 交通費 10,035 諸謝金 210,050 使用料 122,185 通訳費 104,650 翻訳費 35,700 通信運搬費 30,291 文具消耗品費 140,967 印刷正本費 1,540 資料代 72,640 消費税 99,974
マルチステークホルダー（会議体）の取組状況	以下の7つのステークホルダーと当団体で「検討会議」を今期6回実施した。メーリングリストも作成し、情報共有や連絡調整を行ってきた。当初心配していた企業さんの参画も達成され、協働で事業を推進してきた。 ----- 地域自治組織（小田町住民自治協議会）会長1名 企業（株式会社エクセディ）室長と次長2名（会議には1名） 県（三重県生活・文化部国際室）3名（会議には1名） 県（三重県生活・文化部NPO室）3名（会議には1名） 市（伊賀市市民生活課多文化共生係）1名 市民活動団体（伊賀日本語の会）代表1名 在住外国人3名（会議には2名程度出席）
事業概要	地域のコミュニティ力を高め、災害時に地域住民と外国人住民が共に助け合える関係作りを事業目的とする。伊賀市小田地区住民自治協議会をモデル地区とし、当住民自治協議会や三重県・伊賀市・地元企業と協働し、次の事業を行う。1.外国人住民が防災訓練に参加 2.地域住民と外国人住民が定期的な交流 3.外国人住民が地域活動を知り、それらの参加割合を増やす。
事業内容	協働者 小田地区住民自治協議会・三重県・伊賀市・株式会社エクセディ・伊賀日本語の会・在住外国人住民 と当団体（NPO法人伊賀の伝丸）

	<p>◇協働者による検討会の実施（計6回）  情報共有と目的達成にむけて、事業内容の検討、ふりかえり、計画案を検討。</p> <p>◇小田地区在住外国人向け「自治会と防災に関するアンケート」の実施  伊賀の伝丸スタッフと通訳が外国人住民宅約80件を訪問。聞き取り調査。  防災や自治会活動などに対する意識調査の実施。  啓発を兼ねて、防災啓発リーフレットや多言語情報紙を配布。</p> <p>◇多文化座談会（交流会）の実施（2月12日及び3月18日）  伊賀市の外国人住民の状況を住民に紹介  外国人ゲストを招待し、日本生活での喜びや戸惑いなどを紹介  グループ別に日本人と外国人が楽しくコミュニケーションしながら、地域活動や、防災についても話す機会を持つ。</p>		
得られた成果及び自己評価	<p>◇かつて、地域自治組織と企業、外国人住民が、それぞれを意識しながらも同じテーブルに着くことはなかった。同じテーブルで、多文化のまちづくりを話し合う場を設けることができたことは、大きな成果である。このマルチステークホルダーのメンバーとは、シンポジウムの開催など、来期には実働体としても協働する機会が増える予定である。</p> <p>◇自治組織を中心とした交流会の参加者アンケートでは、ひざを突き合わせての交流に、日本人住民、外国人住民双方とも高い満足度が示された。また、まちの住民には多文化共生を推進する人材などのポテンシャルがあることが確認できた。来期の継続的な活動への足掛かりがつかめた。</p> <p>◇戸別訪問アンケートで、地域に暮らす外国人の意識と、居住実態も合わせて確認することができた。今まで潜在化していた在住外国人へアプローチが難しかったが、顔の見える存在として今後の交流が期待できる。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="422 1198 531 1308">評価ラ ンク</td> <td data-bbox="531 1198 1441 1308"> <input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた    <input checked="" type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた    <input type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた    <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた    <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった </td> </tr> </table>	評価ラ ンク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった
評価ラ ンク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった		

(注) 当該支援額により取得し、又は効用の増加した価格が50万円以上の機械及び器具等がある場合、別葉にて、機械等の名称、価格、管理者及び耐用年数等を明記すること。

## 2. 添付書類

その他参考となる書類      ※ 都道府県において適宜設定すること。

新しい公共支援事業の成果等報告  
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

## 1. 成果等報告

モデル事業名	日本一のバリアフリー観光県づくり																
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> NPO支援重点化枠 (該当するものにチェック)																
事業実施主体名	特定非営利活動法人 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター																
実施期間	平成23年10月1日～平成25年3月31日																
支援額 (注釈参照)	<p>※ 支援額は総額及びその内訳を記載してください。</p> <p>3,102,400円</p> <table> <tr> <td>人件費(諸手当含む)</td> <td>926,892円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>395,100円</td> </tr> <tr> <td>日当交通費</td> <td>78,950円</td> </tr> <tr> <td>会場費</td> <td>81,535円</td> </tr> <tr> <td>資料作成費</td> <td>770,000円</td> </tr> <tr> <td>製本印刷費</td> <td>660,000円</td> </tr> <tr> <td>アンケート経費</td> <td>183,500円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6,423円</td> </tr> </table>	人件費(諸手当含む)	926,892円	旅費	395,100円	日当交通費	78,950円	会場費	81,535円	資料作成費	770,000円	製本印刷費	660,000円	アンケート経費	183,500円	その他	6,423円
人件費(諸手当含む)	926,892円																
旅費	395,100円																
日当交通費	78,950円																
会場費	81,535円																
資料作成費	770,000円																
製本印刷費	660,000円																
アンケート経費	183,500円																
その他	6,423円																
マルチステークホルダー(会議体)の取組状況	<p>各地の観光協会、事業者(宿泊観光施設等)等と連携してバリアフリー観光勉強会の開催。</p> <p>三重県健康福祉総務室UDグループとの連携(UDアドバイザーの活用等)</p>																
事業概要	<p>本事業の目的は、三重県を日本一のバリアフリー観光県とすることによる、県内観光各地の集客振興と、三重県のノーマライゼーション化の社会的実現である。</p> <p>伊勢志摩でのバリアフリー観光推進の実績と、全国のバリアフリー観光地が採用する「パーソナルバリアフリー基準」の開発および指導者としての実績をもって、三重県全域の観光施設および宿泊施設を対象に、調査、アドバイスするとともに、障がいのある旅行者からの相談を全県カバーして受け、トラブル無く紹介斡旋する。また、その過程と達成により、地域社会のノーマライゼーション化を実現する。</p>																
事業内容	<p>三重県内の観光地にバリアフリー観光推進の有利性を説明</p> <p>①伊賀上野地区 ②松阪地区 ③榊原温泉 ④津カントリークラブ ⑤東紀州地区 ⑥志摩地区</p> <p>観光事業者や専門員として活動してくれる市民を集めての研修会(実施名称:勉強会)開催</p> <p>12月8日 伊賀地区</p> <p>12月9日 松阪地区</p> <p>12月～1月 榊原温泉地域、津カントリー倶楽部での事業者個別対応</p> <p>1月30日 東紀州地区</p> <p>2月20日 志摩地区</p>																



	<p>上記の研修会(実施名称:勉強会)を経て専門員として活動してくれる方たちを含めた専門員育成(実施名称:研修会)開催</p> <p>3月6日 伊賀地区(ヒルホテルサンピア伊賀 調査)</p> <p>3月27日 松阪地区(松阪フレックスホテル 調査)</p> <p>12月の最初の研修会(実施名称:勉強会)の前に、健康福祉部 健康福祉総務室(ユニバーサルデザイングループ)が育成してきたUDアドバイザー約1000人にむけて、「日本一のバリアフリー観光県づくり」事業の説明と、研修会(実施名称:勉強会)の案内のDMを発送。</p> <p>そのため、各地における研修会(実施名称:勉強会)には、UDアドバイザーの方々が多く出席。</p> <p>また、研修会(実施名称:勉強会)時にアンケートを行ったときに専門員として活動したいか?という問いにほとんどの方が希望し、また次回の専門員育成(実施名称:研修会)にかなりの率で出席していただくこととなり、UDアドバイザーの活動意識が高いことを再認識した。</p>
<p>得られた成果及び自己評価</p>	<p>事業計画にそってほぼ計画通りに進行しており、数値目標としては達していない部分もあるものの、次年度に達成できる予定である。</p> <p>対象としたそれぞれの地域では、バリアフリー観光に関する感心が急速に高まっており、三重県全体でこのような動きになるのは、今後の観光振興において非常に有利であると肌で感じている。</p> <p>また、伊勢神宮の式年遷宮と結びつけて観光振興を行いたいと考えている地域がほとんどで、「三重県バリアフリー観光センター」よりも「伊勢志摩バリアフリーツアーセンター」のエリアとして扱って欲しいという声もある。</p> <p>当NPOと各地の観光行政および三重県UD室との協働は概ね実現しているが、三重県観光関係との協働が薄く、当方および県側からも、この協働関係を強化しなくてはならないと思われる。</p>
<p>評価ランク</p>	<p><input type="checkbox"/>S：特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/>A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/>B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/>C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/>D：成果が得られなかった</p> <p>(該当する評価に『』を付けてください。)</p>

(注) 当該支援額により取得し、又は効用の増加した価格が50万円以上の機械及び器具等がある場合、別葉にて、機械等の名称、価格、管理者及び耐用年数等を明記すること。

## 2. 添付書類

その他参考となる書類 ※ 都道府県において適宜設定すること。

新しい公共支援事業の成果等報告  
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

## 1. 成果等報告

モデル事業名	外国籍児童生徒の放課後学習支援事業
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> NPO支援重点化枠 (該当するものにチェック)
事業実施主体名	特定非営利活動法人 愛伝舎
実施期間	平成23年9月26日 ~ 平成24年3月31日
支援額 (注釈参照)	3,003,000円 人件費 2,122,116円 謝金 103,000円 書籍 15,245円 旅費 106,254円 通信費 55,937円 会場費 160,000円 消耗品費 23,713円 その他 416,735円
マルチステークホルダー(会議体)の取組状況	運営委員会:各学期末(10月、12月、3月実施) メンバー:県(国際室、男女共同参画・NPO室)、アポーヨミエ、三重大学、支援者、特定非営利活動法人愛伝舎 支援者会議:月1回(1月、2月、3月実施) 支援者による学習支援:週2回および定期試験前1週間(11月中旬より実施) 研修参加:適宜
事業概要	公立小中学校、高校に通学する外国籍児童生徒を対象として、学習言語の獲得を目標とする学習支援を行う。問題文章の論理的な展開を理解できるようにし、類似する語彙を使い分けられる運用力をつけていく。中高生には進学できる学力をつけることを目標にする。
事業内容	外国籍小中学生に週2回、および中学生はそれに加えて定期試験前1週間毎日の学習支援。現在2人の支援者とコーディネーターが支援者会議を通して子どもに関する共通理解と支援方法の改善を図り、支援に一貫性を持たせている。 また、津市のブラジル人学校アポーヨミエの学童預りの児童に週1回学習支援を行っている。こちらは複数学年構成の一斉授業なので、算数のベースとなる九九を中心にして教科特有の日本語表現を学び、運用できる力を育てるとともに概念を学んでいくことを目指している。 これらの学習、支援内容を運営委員会において取り上げ、各マルチステークホルダーの視点からサポートしていただいている。

<p>得られた成果及び自己評価</p>	<p>●中3HC：これまで学校外での学習経験なし。内申を上げるために2学期末試験では数学を重点学習（来塾前平均7点→2学期末27点）、冬休みからは受験科目に特化して英語を学習。2学期の担任面談で入試突破は難しいと言われていた志望校の合格を勝ち取った。</p> <p>●小3TR：公文式学習の経験あり。九九の完成と1年生の漢字の学び直し。学年相応の漢字については書けないため、学年を下げた余裕を持って取り組める内容から始めている。余裕から自信が生まれ、学習意欲が湧いて積極的に取り組むようになった。また、それに伴って学習規律も身につけ始めている。</p> <p>●アポーヨミエ：6～9名の複式編成の一斉学習。教科特有の日本語の言い回しを学習して語彙や文章に対する意識が向上し、問題に対して適切な立式に繋がっている。</p> <p>つまづきを理解した的確な学習支援によって、短期間でそれぞれの児童生徒の成長は著しい。大きく成果が上がったといえよう。</p> <p>しかし、体制を整え熱心に支援しても、事前リサーチで10名いた希望者が事業開始時に0名になったり、自動車を買ったからと辞めたり、月謝が払えないと言いながら携帯を買い与えたり、約束をすっぽかしたり、など予測できない日常の困難が多々あった。保護者の教育観やライフスタイルが子どもにも与える影響は大きく、生活規律面での乱れがもたらす支援効果の低さに支援側のジレンマがある。自分の将来を広げるために今なにが必要かということシャワーのようにインプットする必要がある。</p> <p>今後、中学生に対しては保護者の生活感覚と日本の教育観とのズレを子ども自身に意識させることで社会人に必要なマナーや技能を習得させていくことが重要であり、総合的な支援活動として取り組みたい。</p>
<p>評価ラ ンク</p>	<p>□S：特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/>A：優れた成果が得られた □B：一定の成果が得られた □C：限定的であるが成果が得られた □D：成果が得られなかった (該当する評価に□を付けてください。)</p>

(注) 当該支援額により取得し、又は効用の増加した価格が50万円以上の機械及び器具等がある場合、別葉にて、機械等の名称、価格、管理者及び耐用年数等を明記すること。

## 2. 添付書類

その他参考となる書類 ※ 都道府県において適宜設定すること。